

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								3.6
1 音環境		2.0	0.15	2.7	1.00			2.5
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		1.0	0.50	2.4	0.50			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	1.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		1.0	0.35	5.0	1.00			4.2
2.1 室温制御		1.0	1.00	5.0	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を満たす。	1.0	1.00	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		-	-	-	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	4.0	1.00			3.7
3.1 屋光利用		3.0	0.30	4.0	0.50			
1 屋光率	住居部分: 2.0% ≤ [屋光率]	3.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 屋光制御	住居部分: カーテンと庇を合わせることでグレアを制御します。	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.2	0.25	3.3	1.00			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.40	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		2.4	0.40	2.8	1.00			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観	住居部の天井高2.5m以上。	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.50	-	-			
1 耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級3相当	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		-	-	3.2	0.50	-
1 階高のゆとり	階高:2.9m以上。	-	-	4.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEIm 非住宅 - 住宅(専有部) 0.80	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	[BEI] = 0.71、LED照明設備を導入。	5.0	1.00	-	-	-
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、乾式二重床も採用している。	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0,GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して49%。	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-
2 振動		-	-	-	-	-
3 悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン・広告物照明の扱い」のチェックリストの項目の過半を満たしている。	5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-